



学校だより

12月号②

自ら学び考えることができる生徒

感性豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康な生徒

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和5年12月25日

大田区立糎谷中学校

校長 小島 宏一郎

2学期を振り返って

2学期終業式校長講話より

校長 小島宏一郎

おはようございます。80日間の長い2学期が本日で終わり、無事に終業式を迎えることができました。今学期に皆さんは、本当にいろいろなことに取り組み、多くの力を伸ばしてきました。

9月には、3年生の修学旅行、連合陸上競技大会、生徒会役員選挙、10月には、1年生の菅平移動教室と学校全体で取り組む大きな行事の生徒発表会、11月には、連合学芸会（英語の部・音楽の部）や区立中学校美術展などの大田区全体の行事があり、開校70周年記念式典が開催されました。そして、2年生は3日間の職場体験を行いました。

それぞれの行事や活動に目標をもって取り組み、様々なことを学び、たくさんの思い出を残したことでしょう。特に、10月28日の生徒発表会では3年生が模範を示し、学校全体が一体となって発表に取り組み、感動を共有することができました。3年生の合唱コンクールでは、結果はD組が最優秀賞、B組が優秀賞と順位が付きましたが、どのクラスも完成度の高い素晴らしい合唱を発表してくれました。行事に全力を尽くすことの格好の良さを下級生に示してくれた3年生には改めて感謝します。

また、11月25日の開校70周年記念式典では、和太鼓部の力強いオープニングに始まり、代表生徒の挨拶や指揮・伴奏や、参列した生徒の皆さんの態度もとても立派で、御来賓の方々から「糎谷中の式典はとても素晴らしかった。」とお褒めの言葉を戴きました。特に、歌詞がスクリーンに投影されないというトラブルがあったにもかかわらず、数回しか練習していない歌「絆」を堂々と歌い上げてくれたことは、行事に全力を尽くす糎谷中生の素晴らしさを参列された方々に知っていただけたことになり、誇らしかったです。記念行事を通して、今の糎谷中があるのは70年の間にたくさんの方々の苦労や努力があったことを感じてくれたことと思いますが、恩に報いるように伝統をしっかりと受け継いでくれることを期待します。

さて、今日の学活では担任の先生から、通知表が手渡されます。通知表には教科の評価・評定のほかに、特別活動や出欠の記録、皆さんの取組の様子を言葉で評価した所見が記載されています。所見は、担任の先生が皆さん一人一人の2学期の生活の様子を思い浮かべながら、時間をかけて書いたものです。皆さんが頑張ったところや、皆さんの課題、そ

して、アドバイスや励ましの言葉が書いてあります。いくつか、印象に残った所見を紹介します。

「誰に対しても優しく、平等に接する姿勢をたくさん見ることができました。」「級友の話を親身に聞いてあげられる、傾聴できる力はあなたの強みです。」「教室では分からなくて困っている友達に教えてあげる姿がありました。」「当番活動では、みんながやりたくない仕事も進んで行っている姿を見ていつも感心しています。」「給食当番の際には誰よりも早く白衣に着替えて早く配膳をしようと心がけていました。」「どの教科においても積極的に発言や質問をし、自分で勉強の仕方を工夫することができました。」「授業中だけでなく家庭学習にも力を入れて取り組むことができました。」「

友達に優しく思いやりをもって関わっている生徒、誠実に係や当番の仕事に取り組んでいる生徒、進んで学習に取り組む生徒、そんな生徒が糎谷中にはたくさんいることがわかり、とても嬉しく思います。他にもいろいろな所見がありました。しっかり読んで今学期を振り返り、3学期に繋げてください。

最後に、冬休みは学期の切り替わりであると同時に、新たな年を迎える時でもあります。大掃除をしたり、年越しそばを食べたり、初詣に行ったり、お年玉をもらったり…、家族や親戚と過ごす時間も多くなるでしょう。そんな時間を大切にして、家族や親戚の方といろいろな話をしてください。また、「1年の計は元旦にあり」ということわざがあります。元旦の旦の字は日の下に一本の線を引き、太陽が地平線から上がってくる朝を表しています。「1年の計画は元日の朝にたてるのがよい。最初に計画や目標をしっかり立てることが大切。」という意味です。残り1週間に今年を振り返り、夢や抱負をしっかりもって2024年元日の朝を迎えてください。

気温が低くだいぶ寒くなってきました。インフルエンザもはやっています。規則正しい生活と健康管理、感染予防を徹底し、有意義な冬休みにしてください。特に3年生は進路決定の大切な冬休みです。強い意志をもち、目標に向かって、諦めずに粘り強く突き進んでください。3学期の始業式には、元気に登校する皆さんに会えるのを楽しみにしています。





生徒の活躍の記録から

【社会を明るくする運動意見発表会】

意見発表会 感謝状 3C []
題名「ふとした瞬間に」

[]さんの作文は先日配布した「大田区保護司会第四分区ひろば」に掲載されています。ぜひお読みください。

【令和5年度 中学生の「税についての作文」】

蒲田税務署長賞 3B []

[]さんは、12月4日に蒲田税務署にて、1日税務署長を務めました。[]さんの作文を下に掲載しましたので、お読みください。

【“租税教育の推進” 感謝状】

租税教室や税の作文の取組を継続し、租税教育の推進に貢献してきたことが評価され、高橋尚人蒲田税務署長より表彰状をいただきました。



【大田区小中学校人権啓発作品展】

習字の部

- 1C [] 「尊重」
- 1C [] 「友情」



ポスターの部

- 3D [] 「増やそう 差し伸べる心に寄り添う勇氣」
- 3A [] 「1人1人みんな違う だから、『あなた』という存在が大切」

標語の部

- 2C [] 「みんなでね 笑顔のバトン 渡そうよ」
- 2D [] 「『普通じゃない』誰にとつての 普通なの」



【“社会を明るくする運動” 感謝状】

今年度も中学生・高校生意見発表会参加し、運動に貢献してきたことが評価され、羽田中、出雲中、つばさ総合高校、蒲田女子高校と共に、小池百合子都知事より、表彰状をいただきました。



【蒲田税務署長賞】

糀谷中学校 三学年 []

みなさんは毎日学校に通い勉強できていることを当たり前だと思つていませんか。世界には勉強がしたくてもできないという子供がたくさんいます。日本で「義務教育」と言われる六才から十五才までの九年間でかかる一人あたりの教育費用は約八百四十五万円です。日本ではこれらのお金が税金によつて支払われているのです。

中学一年生の春、最初の授業でたくさんの教科書が配られました。その時担任の先生が言った「教科書のうらを見てみて。『この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています』と書いてあるでしょう。」という言葉が中学三年生になつた今でも覚えています。今、日本を支えている大人のみなさんが私達が日本を支える立場になれるように、なつた時に困らないようにと私達の将来を考え、税金を納めてくれているのだと思つていました。税金は今日日本を支えている大人と今後支えていく子供をつなぐバトンのようだと感じます。

教育に使われている税金をくわしく調べてみると、教科書だけでなく校舎の建設代や机の購入費用などにも多くの税金が使われていることを知りました。同時に教育のために年間五兆円以上の現金が使われていることも知りました。私達が無償で教育をうけられてい

ることは決して当たり前のことではないと考えさせられました。

私に身近な税金は消費税で、商品のお金に加えて支払わなくてはならないのであまり良いイメージはありません。ですが、消費税の他にも税金にはたくさん種類があり、その中の一つが私達の教育のために使われていることを知り、税金とはまったくかわるいものではなくて、みんなが快適に過ごすためには必要不可欠なものだと考えるようになりました。

学年が変わることに配られる新しい教科書、一人一人が所持しているタブレット、いすや机、部活動で使う道具などの費用に皆さんの税金が使われています。なぜ私達のためにこんなにもたくさんの税金を使ってもらえるのか、それは「私達の将来に期待」をしてもらっているからだと思います。教科書のうらに書かれている言葉の通りこれからの日本を担う立場になる私達に期待をしてくれているのです。

学校に通いたくても通えない、勉強したくてもできないという状況に置かれている子供が世界中に多くいる中、こうして大人のみなさんからの期待で税金を納めてもらつて良い環境で勉強できていることに感謝をしたいと思います。税金は今日日本を支えている大人と今後支えていく子供をつなぐバトンだと思つています。このバトンをしっかりとうけとり、自分が大人になり日本を支える立場になつた時には、子供たちにバトンをわたせる立派な大人になりたいです。